

南区 地域情報発信

南区の宝となるモノや話題、地域で活躍している方をピックアップ!

コロナ禍の中で

庄瀬地域コミュニティ協議会

学校休業や外出自粛と、今年度はかつて経験したことのない状況でスタートしました。こんな時だからこそ地域のつながりを大事にしようと、新しい生活様式で実施できる方法を模索し、地域の皆様のご理解とご協力で無事に開催することができた2つの事業について紹介します。

●庄瀬地区花火大会(8月15日)

自治会や外郭団体に協力を依頼し、30発の花火を上げることができました。3密を避けるため観覧会場を設けず、「コロナに負けるな」などの皆さんの熱いメッセージを掲載したプログラムを事前に全戸配布し、心を一つに花火を楽しむことができました。

●第14回庄瀬地区総合防災訓練(10月4日)

庄瀬小学校では児童、保護者による避難所運営訓練としてパーティションの設営や避難者の受け入れを体験しました。各自治会では担当役員が事前に研修を受け、全戸を訪問して防災啓発活動を実施。これまで訓練に参加できなかった高齢者にも声を掛けることができ、新たな課題も見出せました。今後の地域防災活動につなげていきたいと思ひます。



お助け隊こぼやし

小林コミュニティ協議会

小林コミュニティ協議会は「お互いに助け合い健康で安心・安全の村」を目標の一つとして活動しています。その理念のもと、今年7月より住民同士の助け合い活動「お助け隊こぼやし」をスタートしました。

一人暮らしの高齢世帯や、体が不自由な方など手助けを必要としている方が対象です。申し込みは地域生活センターで受け付けており、登録スタッフが作業に当たります。利用者は利用料金500円を直接スタッフに支払います。

開始から3カ月が経過し、その間の依頼は草取り、お話相手、買い物代行、畳の移動などがあり、利用された方々から喜んでいただきました。顔と顔を合わせることで地域住民の結びつきを強く感じます。

今後この取り組みを継続する上で車を利用した支援ができないか考えています。集落が広範囲に点在している当地区に車は欠かせません。南区の他の地区でも同じ課題を抱えており、近隣のコミュニティと協働で取り込めれば、より実現が可能になると考えています。通院や買い物など日常の困り事の解決のほかにも、茶の間への移動なども視野に入れて取り組んでいきたいと思ひます。

車を運転しない方の「生活の足」、子供達の「通学の足」であるバス路線を守っていきましょう。

わたしたちは南区の区バスを応援しています。

